

(十五) 富山商業学校 時代(下)

私が富山商業学校二年生の頃だった。一、二年生の頃は、一般教養学の科目が多く、三年生になると商業の専門科目が多くなった。進学するには、その頃から心掛けが必要であった。

高岡市に、高岡高等商業学校があった。私は、入学出来る自信は充分あると思っていたのと、富山から通学出来るし、父に受験する許可を申し入れた。父から、言下にキッパリ断られた。「家業を継ぎ、材木屋をしてゆくの、何の学問が必要か？本来なれば、小学校卒業後直ちに家業で或る材木の道に励み、商売を理屈で無く、肌で感ずる様に努力すべきである」と思っていたのだが、今日のご時勢だから、五年間だけ遅く生まれた者と諦め、商業学校位卒業していいと、将来嫁を貰うのに、お前自身の為に困ると察して、親心として、黙認してある事を忘れ、何たる事か。青白い顔をして、学があれば小理屈が多くなり、商売には反って逆効果である。「良一兄は、幼少の頃から、祖父母、母及び本人も、商売には不向きで嫌いだと言、やる気の無い者は、適当でないと思っていたから、富山中学から明治大学へと進学を認めたのだ。彼は月給取りの方が良

いと、一族及び本人も希望だったからである。」「お前の場合は、卒業証書一枚さえ無事頂いてくれれば良いので、学問や成績の方はどうでも良いのだ。だから駄目だ。」と一喝拒否された。学問・学校に対する認識・観念は、全然ゼロである。良一兄の時も、高等学校に對する認識は無知に等しかったし、今般又、私の進学希望も聞き入れ無いとは、不都合だと。暫くは、私も希望を断られ、不愉快で、また、反抗期の年代も手伝って、親父と話しもしなかった。母はそんな

私を説得した。私の心も、祖父と母の方に段々傾いて行った。そして、最後に進学をどうと諦めた。商業学校は、三年生から商業の専門科程が多くなった。私は、折角商業学校に入学したのだから、商業科目「算盤・簿記・商法・商品・商算・商事要項・商業実践」等は、私自身の為にもあり、ジツクリ身に付け、英語・幾何・代数等、その時間を友人達と、交友を深めようと新しい方針を考えた。国際化時代の今日、横文字にたいへん弱いのも、その時代に基本知

私に「お前が、若し材木屋で成功すれば、大学卒業生でも、専門学校卒業生でも、私の店に雇えば良いではないか。現在、富山市内の各業種の商店を眺めても、商業学校出身は、インテリ層で、ほとんどは丁稚・小僧上がりではないか。」と、一軒一軒、付近の有名商店を名指しで実例を挙げ「五年間は落第さえしなければ、成績が悪くても平穩に卒業しておくれ。」と、むしろ懇願するように諭された。祖父も母に追従して、父の頑固な意見を受け入れるよう静かに

も適当に幅広く交際している者は少ない。運動は、水泳部、スキー部に所属していた。特に、水泳は少年時代神通川で鍛えられていたので、帰校途中での水泳は、学校では厳しく禁ぜられていたが、コッソリ、神通川で、私が先頭に立つてよく泳いだ。

或る日、コッソリ泳いでいた最中に、小学生が一人溺れていたのを見て救助した。「人命救助」として講堂で、全校生徒の前で、私以下グループ数名が表彰された事があった。

識が出来ていなかった精かも知れない。成績は、一、二年生の頃は上位だったが、三年生頃から中位以下に落ちたが、落第には未だ後順位がいたから大丈夫だった。

冬期、帰校途中、互いに自慢話に花が咲き、寒中に、神通川で泳いだ事もあった。川の向岸迄泳ぎ着いた者は、私一人であった。神通大橋は帰校途中の生徒で黒山になり、評判となり、学校に知れて大目玉を食らった事もあった。私は、運動が好きだったので、硬派組・応援団型の連中のリーダー格であった。今日でも同窓生で集まる機会があるが、私ほど、昔何型に所属していた友人で

1格として統率が出来、又、商業科目はガリベン型にも決して劣らない自信があったから、その辺で彼等とも話が合った。つまり、私ほど、交友の中が広がった者は少なかった。

私の学友に、源氏鶏太氏(本名田中富雄)と言う、ユウモア・サラーイマン小説家がいる。彼はガリベン型の優等生で、卒業後直ちに住友系列会社に入社後、定年近くになり、小説家に転向し、「三等重役」等の小説を出版して、一時的には全国的に人気があった事もあった。一般読者は、ユウモア小説家だから、本人は朗らかな、愉快な、人づきあいの良い人柄と連想されると思うが、当人の学校時代からの行状を知っている同窓連中には、人気絶頂の時も人気の落ちた今日も、彼に好意を持っている学友はたいへん少なく、年賀状すら文通している者は程んど無いと言う。全く一人ボッチの孤独で、私は「寂しい、哀れな友人よ」と、彼の為に同情している。当時の商業学校の校長は、小倉鎬先生だった。校長室に入ると、「質実剛健」と、大書した額が掲げてあった。源氏鶏太氏には剛健さが無かった。風の便りに、彼は今日、極端なノイローゼ症だそうである。その点、源氏鶏太氏より私の方が、「質実剛健」の校長の訓示に近いと自負したい。

こいけものごと記 善くして翁記